

# TARO

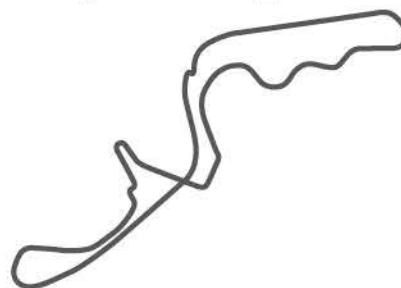
**Mistrésa**  
with **HARC-PRO.**



2015 FIM Endurance World Championship Series, Round 2  
**Suzuka 8hours World Endurance Championship Race**

2015 FIM 世界耐久選手権シリーズ第2戦  
“コカ・コーラゼロ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース第38回大会

**All JAPAN Honda DREAM CENTRAL BL RT**  
**#9 TARO SEKIGUCHI**



開催場所：三重県 鈴鹿サーキット (1周=5.821km)  
予選：29番手 (タイム：2分12秒968)  
決勝：49位  
天候：7月24日(金)曇り 路面：ドライ  
7月25日(土)晴 路面：ドライ  
7月26日(日)うす曇 路面：ドライ  
観客動員数 (4日間合計)：120,000人

**Obbli**  
SAN-AI OIL

**FIXFIT**

**YAMAHA HOG**  
SUPER EXPRESS

BIKERS STATION  
**SOX**

池田製作所

鈴府中不動産

**Sanwaseimitsu**

工具箱

静岡工科自動車大学校

**RS R.C.S.**  
Rinkai Challenge Series  
リンクライデンシリーズ

**Pintec**

**BODY POWER**

功和軍団

**Arai**  
HELMET

**HYOD**

**alphastars**

**S&E PRECISION**

**ADVANTAGE**

**ACTIVE**  
Rev and Ride It!

**Team PLUS ONE**

**NGK**  
SPARK PLUGS

**Henkel**

**eTFO**

**XAM**  
SPARK PLUGS

**AKESBOND**  
BRAKE EXPERTS

**YUTAKA**

**RK**  
TAKASAGO CHAIN

**ATJ**

**MUSASHI**

TARO

Mistrésa with HARC-PRO



# All JAPAN Honda DREAM CENTRAL BL RT #9 TARO SEKIGUCHI

2015 FIM 世界耐久選手権シリーズ第2戦  
“コカ・コーラゼロ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース第38回大会

## 旗 アクシデントを乗り越えて完走した4年振りの鈴鹿8耐

日本最大のオートバイロードレースイベントとも言える鈴鹿8時間耐久ロードレースが今年も行われた。関口は、4年振りに鈴鹿8耐に全国 HondaDream 会中部ブロックレーシングチームから参戦。メカニックを始めチームスタッフは普段 Honda Dream 店で働いているメンバーが集まっている。クラスもSSTとなり、ほぼスタンダードのマシンに17インチスリックタイヤを履かせている仕様だ。



7月の合同テストからチームに合流した関口は、マシンのフィーリングを確かめながらチームメイトと共にセットを進めて来た。レースウィーク初日の木曜日は、ウエットセッションから始まり、チームメイトが転倒するアクシデントもあったが、ライダー、マシン共にダメージは少なく胸をなで下ろしていた。



金曜日の公式予選は、2グループに分かれ第1ライダーから第3ライダーまで各2セッション行われた。84台ものエントリーを集めた今年の8耐は、14台が予選落ちをすることになった。組アタマ取りでグリッドが決まるだけにグループで35番手以内に入らなければならない。関口は元朝霞研究所の小澤監督の指示でAグループの第3ライダー枠に出走。台数が少なく、2回目の走行は気温が下がってくる事が予想されたからだ。その狙い通りに関口は2回目のセッションで目標にしていた2分12秒台に入れ13番手につける。SSTクラスでは2番手タイムをマークし、全体では29番手となり、好位置からスタートすることになった。



決勝日も鈴鹿サーキットには青空が広がり、厳しい暑さとなった。スタートライダーは鈴木慎吾選手が務め、2番手に中垣寿郎選手が出て行くが、1コーナーでコースアウト転倒。何とかピットに戻ってくるが、修復に時間がかかってしまいポジションを落としてしまう。その後、マシンが直ると関口がコー

スイン。転倒の影響からスタンドフックが取れかけてしまったためイレギュラーのピットインはあったものの、関口は3スティントをこなし、チェッカーフラッグを受けたのだった。



### ■関口太郎コメント

「4年振りに鈴鹿8耐に参戦させていただき、難しいレースだということを再確認させていただきました。個人的には予選で目標タイムを出せたのでホッとしましたし、すごくいいトレーニングになりました。アクシデントは残念でしたが、いい経験ができました。チームの皆さんに感謝したいですね。すぐに全日本第5戦もてぎ2&4レースがあるので、前半戦の悔しい思いを残り4戦にぶつけます。」



このリリースへのお問い合わせは、  
下記メールアドレスまでお願いいたします。  
E-mail:sekitaro@mail5.alpha-net.ne.jp